

漏れ試験実技参考書 2012 正誤表 (平成 24 年 7 月 23 日発行)

大変申し訳ありません。以下の修正をお願いいたします。

2013. 2

頁		誤	正
P7	⑤	発泡液の塗布及び観察	漏れの大きさと発泡液の観察 (加圧法の場合)
P14	(2)	(300×400×6t (mm))	(200×300×6t (mm))
P14	(3) ①	300Pa	3kPa
P20	図 2. 15	Φ0. 30±0. 004	Φ0. 030±0. 004
P34	(3) ①	試験圧力 0.05±0.01MPa	試験圧力 0.05±0.002MPa
P36	(3) ①	0.05MPa	試験圧力 0.05±0.002MPa
P38	(3) ①	0.05MPa	試験圧力 0.05±0.002MPa
P40	(3) ①	0.05MPa	試験圧力 0.05±0.002MPa
P42	(3) ①	0.05MPa	試験圧力 0.05±0.002MPa
P46	(3) ①	試験圧力 100kPa	試験圧力 100±2kPa
P48	(3) ①	試験圧力 100kPa	試験圧力 100±2kPa
P50	(1)	目的:(省略)	未知の漏れサンプルの圧力変化量を測定し、各サンプルの漏れ量を求める。
P50	(3) ①	試験圧力 100kPa	試験圧力 100±2kPa
P52	(3) ①	試験圧力 100kPa	試験圧力 100±2kPa
P54	(3) ①	試験圧力 100kPa	試験圧力 100±2kPa
P109	表 5. 7	表の 2 行目 : 「発信器 OFF、dB μ の」の箇所 表の 3 段目 : 「発信器 ON」	この行を削除 「バックグラウンド」に修正
P110	4 行目	・・・放物線上の反射鏡・・・	・・・放物線の曲面を持った・・・